



Inter-city Solidarity Newsletter

都市連帯ニュースレター

編集・発行 世界平和連帯都市市長会議事務局

1997年3月10日 第7号

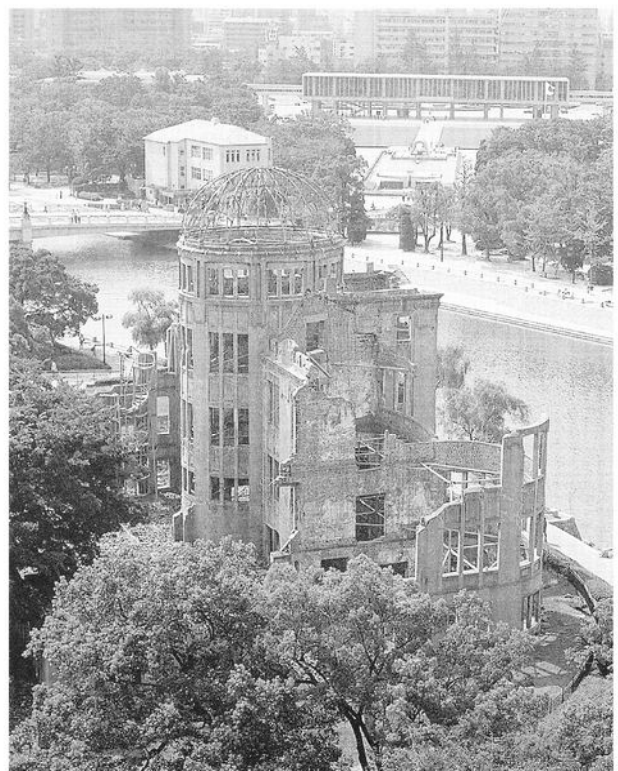
原爆ドームが世界遺産に登録されました

昨年12月5日、メキシコのメリダ市で開催されたユネスコ世界遺産委員会で、原爆ドームを世界遺産一覧表へ登録することが決定されました。核兵器廃絶と恒久平和を求める誓いのシンボル・原爆ドームは、人類共通の遺産として、21世紀へ新たな一歩を踏み出しました。

原爆ドームは、チェコの建築家ヤン・レツル(1880-1925年)が設計した建物で、広島県の物産陳列館として1915(大正4)年8月5日に開館しました。館内では広島県下の物産が展示・販売され、博物館や美術館としても利用されました。その後、広島県商品陳列所、広島県産業奨励館と改称し、開館以来30年にわたり市民に親しまれました。

1945(昭和20)年8月6日、一発の原子爆弾が投下され、この時から建物は原爆被爆の惨禍を示すシンボリックなものになりました。

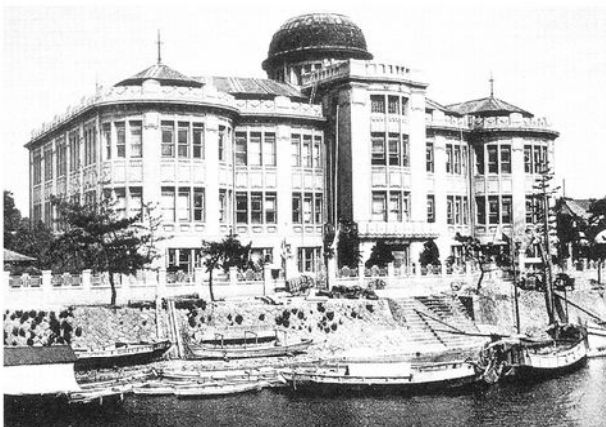
原爆ドームには、これまでに募金により2回の保存工事が行われています。2回目の募金の残金で、原爆ドーム保存事業基金が設置され、現在も全国から寄付が寄せられています。



原爆ドームは“Hiroshima Peace Memorial, Genbaku Dome”として世界遺産リストに登録されました。

今回の世界遺産化により、原爆ドームは人類共有の遺産として国際的に認められました。このことは、「核兵器を二度と使用してはならない」ということが国際社会の共通認識になりつつあることを示していると考えられます。

広島市では、世界遺産化の意義を深く心に刻み、核兵器廃絶と恒久平和を求める誓いのシンボル・原爆ドームをこれからも広く内外に紹介していきます。



1930年頃の建物の外観

第4回世界平和連帯都市市

世界平和連帯都市市長会議事務局では、今年8月4日から9日まで、広島、長崎で開催する第4回世界平和連帯都市市長会議について、正式な開催要領を決定し、その内容を1月下旬に国内外の905都市へ送付しました。現在各都市からの出席申し込みを受け付けています。今回は、この会議の具体的な内容についてお知らせします。

〔開催趣旨〕

この会議は、1982(昭和57)年6月の第2回国連軍縮特別総会において、広島市と長崎市が提唱した「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する都市(1997(平成9)年2月現在、99カ国・地域、420都市)により構成される世界平和連帯都市市長会議が、4年に1回開催する総会です。

今年は第4回目の世界平和連帯都市市長会議総会を開催する年にあたります。今度の会議は次の二つを目的として開催されます。

- 1 広島・長崎の被爆の実相に触れながら、核兵器廃絶をはじめ人類の共存を脅かす諸問題、さらには世界の調和を図るためのさまざまな方策について討議する。
- 2 都市間の連帯と相互理解を深めることにより、世界恒久平和の実現に寄与する。

〔開催期間及び会場〕

開催期間：1997(平成9)年8月4日(月)～9日(土)

会議会場：広島市・広島国際会議場

長崎市・ホテルニュー長崎

〔予定参加者数〕

国外：40カ国・地域、85都市、170人

国内：45都市、90人

合計：41カ国・地域、130都市、260人

市長会議事務局のEメールをご利用ください

アドレス mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

〔会議テーマ〕

基調テーマ：平和・公正・自由

－世界の調和を目指して－

全体会議Ⅰ：20世紀の教訓と21世紀への課題

－戦争の世紀から平和の世紀へ－

全体会議Ⅱ：市民の力で核兵器のない世界を

－核廃絶と国際的連携－

分科会Ⅰ：CTBT以後、核廃絶のために何をするか

分科会Ⅱ：科学技術の進歩と新しい社会システムの構築

分科会Ⅲ：平和な社会を目指しての国際的連携

分科会Ⅳ：未来を担う青少年のための平和教育と平和文化の創造

全体会議Ⅲ：多様な社会の調和を目指して(総括)

〔使用言語〕

会議同時通訳：英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、日本語

印刷物その他：英語、日本語

〔参加費用の負担〕

1 主催者負担

8月5日から9日までの昼食及び8月7日の広島から長崎への移動交通費。

2 出席者負担

(1) 1都市あたり2万円の出席負担金

(2) 会議出席に伴う上記1以外のすべての経費

〔その他〕

事務局では8月5日午後、8月6日・8日・9日には同伴者プログラム(無料)を設ける予定です。

長会議インフォメーション

〔日程 (予定)〕

8月4日(月)	広島市
終日	参加者来日、参加登録
16:00-17:00	理事会(関係者のみ)
18:30-20:00	広島市歓迎レセプション
8月5日(火)	広島市
8:40- 8:50	原爆死没者慰霊碑参拝
9:00- 9:50	平和記念資料館見学
10:00-11:15	開会式
11:30-12:00	総会
13:30-17:00	全体会議Ⅰ
8月6日(水)	広島市
7:00- 9:30	広島市平和記念式典参列
10:00-12:00	全体会議Ⅱ
13:30-15:30	分科会Ⅰ、分科会Ⅱ
16:00-18:00	宮島視察 日本三景の一つである宮島の厳島神社は、昨年12月原爆ドームとともに世界遺産に登録されました。
19:00-	灯ろう流し など
8月7日(木)	広島市→長崎市
終日	大型バスで長崎市へ移動
18:30-20:00	長崎市歓迎レセプション
8月8日(金)	長崎市
9:00- 9:30	開会式(長崎会議)
9:30-11:30	シンポジウム
11:45-12:30	被爆者との懇談
14:30-16:45	分科会Ⅲ、分科会Ⅳ
19:30-21:00	グラバー園視察
20:30-	アピール起草委員会(関係者のみ)
8月9日(土)	長崎市
9:00-10:00	長崎市原爆資料館見学
10:30-12:00	長崎市平和祈念式典参列
14:30-15:30	全体会議Ⅲ
15:30-16:00	閉会式 ヒロシマ・ナガサキアピール採択
8月10日(日)	
終日	参加者離日

アクセス情報

【広島への到着】

- 1 (1) 広島空港には以下の五つの都市との間で国際便が運航されています。(1997年2月現在)
香港：広島着・土曜日以外の毎日/広島発・水曜日以外の毎日、ソウル：毎日、上海、西安：火、金、シンガポール：月、水、金、土、グアム(6月5日就航予定)：広島着・月、火、金、土/広島発・月、木、金、日
- (2) 広島空港から宿泊ホテルのある広島市内中心部まではリムジンバスで所要時間約1時間です。
- (3) 海外からの参加者の皆さんには、できるだけ広島到着の航空便を利用していただきますよう、ご協力をお願いします。
- 2 成田(新東京国際)空港、関西国際空港その他へ到着の場合の所要時間は次のとおりです。
成田空港→広島空港(羽田空港経由)：約4～5時間
関西国際空港→広島駅(鉄道利用)：約4～5時間
福岡空港→広島駅(鉄道利用)：約2時間半

【長崎からの出発】

- 1 (1) 長崎市最寄りの国際空港は福岡空港です。土曜・日曜日に福岡空港発の便が運航されている主要都市は次のとおりです。(1997年2月現在)
①土曜日発：オークランド、北京、香港、ホノルル、ソウル、シンガポール
②日曜日発：バンコク、北京、ケアンズ、香港、ホノルル、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、ソウル、上海、シンガポール
- (2) 長崎駅から福岡空港までの所要時間：約2時間
- 2 成田(新東京国際)空港、関西国際空港その他から出発の場合の所要時間は次のとおりです。
長崎空港→関西国際空港：約1時間半
長崎空港(羽田空港経由)→成田空港：約5～6時間
会議会場のある長崎市内中心部から長崎空港まで：リムジンバスで所要時間約1時間

*正式に会議出席の回答をお寄せいただいた都市には、所定の旅行代理店から旅行手配の詳細についてご連絡します。

イタリア・ウンブリア州で 原爆展を開催しています

3月1日から3月31日まで、イタリア・ウンブリア州ペルージア市とアッシジ市で、ヒロシマ・ナガサキ原爆展を開催しています。

この原爆展はウンブリア州、ペルージア行政区、ペルージア市、アッシジ市、平和協会などが主催し、広島市・長崎市が協力して開催されたものです。



原爆展の会場となるアッシジ市役所

また、2月15日から3月31日までドイツ・ビュルクでも原爆展を開催しています。

広島市・長崎市では現在、ニューヨーク（アメリカ）、バルセロナ（スペイン）、ハイデルベルク（ドイツ）ほか数都市での展示会開催に向けて準備を進めています。

新たに4都市が市長会議のメンバーに加わりました

事務局では、昨年12月24日付けで、新たに世界49カ国 216都市に対し世界平和連帯都市市長会議への加盟を要請する書簡を送りました。これに対し、これまでに次の4都市が新たに加盟されました。

ナデイ市（フィジー）、カムループス市（カナダ）、ラ・トリニダード市（フィリピン）、ヘント市（ベルギー）

ナデイ市はフィジーで最初の加盟都市です。これによって加盟都市総数は世界99カ国・地域 420都市となりました。

事務局より

8月の第4回世界平和連帯都市市長会議の開催に向け、事務局では本格的に準備を始めました。会議が有意義なものとなるよう精一杯努力したいと思います。皆さんと8月にお目にかかれることを楽しみにしています。

海外での活動紹介

インド・マドラスで「ヒロシマ・ナガサキ原爆ポスター展」が開催されました

1996年11月19日、ユニバーサル・ラブ・アンド・ブラザーフッド協会マドラス支部の主催により「ヒロシマ・ナガサキ原爆ポスター展」が開催されました。同協会支部長のカリカル・バイター氏によって、広島市長からのメッセージが代読されました。会場となった市内のホテルには多くの市民がつめかけ、熱心にポスターに見入っていました。

バイター氏からは事務局に展示会の写真と開会式の様子を収録したビデオテープをお送りいただきました。たいへんありがとうございました。



マドラスでの「ヒロシマ・ナガサキ原爆ポスター展」の様子

平和活動の報告書が送付されました

事務局に以下の平和活動の報告書、概要をお送りいただきました。たいへんありがとうございました。

- ・ランダウ・ネットワーク・コーディネーション・センター会議報告書「平和構築のための科学と技術」（イタリア・コモ市より）
- ・環境保護クラブの活動概要（ラトビア・リガ市より）

皆様の都市での平和活動についての情報（写真、新聞記事、報告書など）を事務局までお寄せください。

上記の資料の詳細をお知りになりたい場合は、遠慮なく事務局までご連絡ください。

世界平和連帯都市市長会議事務局

〒730 広島市中区中島町1-2 (財)広島平和文化センター内

Tel: 082-241-2352 Fax: 082-242-7452

E-mail: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

■このニューズレターは再生紙を使用しています。